

乾
章俊
議員



○旧神谷製材所の残骸について ○七里壁について

―土砂崩れ・防災対策、ジオパークの視点―

そのほかの質問

・地方公務員の非正規職員の待遇改善にかかる法改正対応について

一般質問

問 先人達は畔川から長淵にいたる河岸段丘を利用して坂のある町としての独自の景観を形作ってきた。最近、2度の土砂崩れが発生した。幸い、人的被害、住宅損傷はなかったが想定外の豪雨で地盤が緩み、劣化が進み土砂災害の危険性を心配する。国、県の補修工事にかかる助成の確保と防災面での対応を伺う。ま

答 道の駅設置が決まり準備が進むなか、旧神谷製材所の状況がいつころに改善する気配がなく醜い姿が風雨にさらされていくことに心が痛む。景観の美しさを誇る当市のイメージダウンも甚だしい。国も深刻化する空き家対応の仕組みの見直し、法令の改正を急いでいる。何とか解決策を見出してほしいが、対策状況を伺う。

問 2つの被災箇所は民有の宅地であるため、市施工による工事は難しく、所有者の撤去費用等に対しても該当する補助金がない状況である。新たな補助金の創設を考えているが、課題も多く、十分に精査が必要であると考

答 七里壁は恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークのサブテーマのひとつ「九頭竜川などの河川とその地形」の中の「ジオサイト」として位置づけ、ジオツアーコースとして、市内外の方々に見ていただいている。また、勝山市観光まちづくり株式会社で七里壁等を巡るツアーを開催し、観光客に参加をいただいた。ほかにも、市内外の児童・生徒を対象に校外学習の題材として七里壁を活用している。

北川
晶子
議員



○空き家対策の状況について ○ライフステージに応じた女性の健康について

一般質問

問 女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすためには、ライフステージに応じた支援が必要である。平成30年3月に閣議

問 近年空き家がもたらす問題が多岐にわたり、当市においても平成30年豪雪では、除雪や漏水に関することが大きな問題となった。多くの市町村では、今後も空き家の増加が見込まれることから、空き家がもたらす問題に総合的に対応するための計画を実施し、定期的な内容を見直している。そこで、当市においても、「勝山市空き家対策計画」の策定に取り組むべきと思うが所見を伺う。

問 がん患者の就労支援について国は、がん対策推進基本計画において、3年以内の「治療と仕事両立プラン（仮称）」を制定し、個々の実情に応じた就労支援を行うための体制整備を進めていくとしている。市としてもがん患者の就労支援について、このプランを基に県やハローワーク等と連携し、取り組んでいきたいと考える。

答 がん治療による外見のケアのため、ウィッグや乳房補正器具等で補完する補助金の補助については、平成30年4月より県が、1万円を上限に補助する制度をスタートしている。市としても適切な相談機関や制度を紹介できるような情報収集や情報発信に努めていきたい。がん患者の就労支援について国は、がん対策推進基本計画において、3年以内の「治療と仕事両立プラン（仮称）」を制定し、個々の実情に応じた就労支援を行うための体制整備を進めていくとしている。市としてもがん患者の就労支援について、このプランを基に県やハローワーク等と連携し、取り組んでいきたいと考える。